東京工業大学大学院理工学研究科 電気電子工学専攻・電子物理工学専攻 大学院修士課程入試問題 平成23年8月17日実施

専門科目 電気回路(午前)

24 大修

時間 9:30 ~ 11:00

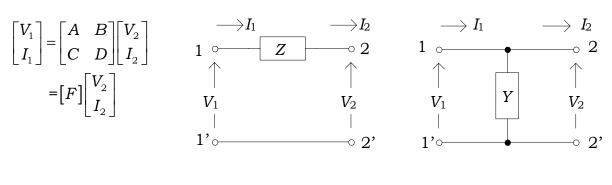
電気電子工学電子物理工学

注意事項

- 1. 解答は問題ごとに指定されている答案用紙に記入せよ。
- 2. すべての答案用紙に受験番号を記入せよ。
- 3. 電子式卓上計算機などの使用は認めない。

電気回路

- Ⅰ. 二端子対回路について,以下の問に答えよ。
- 1) 図 1.1(a)に示す直列インピーダンスおよび図 1.1(b)に示す並列アドミタンスに対して以下の式で定義される Fパラメータを表せ。

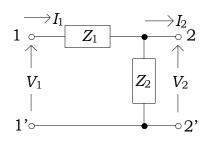


(a) 直列枝

(b) 並列枝

図 1.1

2) 図 1.2 に示す回路の Fパラメータを表せ。



3) 図 1.3 に示すように,回路の 1-1'端子を抵抗 R_S で, 2-2'端子を抵抗 R_L で終端する。この とき, 1-1'端子から右側を見込むインピーダンスを Z_i , 2-2'端子から左側を見込むインピーダンスを Z_o とする。回路の整合条件を記せ。 つぎに回路の Fパラメータの各要素 A, B, C, Dを用いて入力整合インピーダンス R_L を表せ。

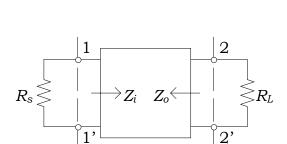
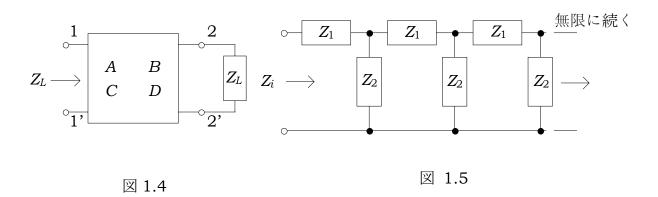


図 1.2

図 1.3 整合インピーダンス

4) 図 1.3 に示す回路の 1-1' 端子と 2-2' 端子間に図 1.2 に示す直並列回路が入れられているとき,入力整合インピーダンス R_S および出力整合インピーダンス R_L を求めよ。の ぎに,これらの積 R_SR_L を求めよ。解答欄には計算過程も記入すること。

- 5) 図 1.4 に示す二端子対回路の 2-2' 端子間に負荷 Z_L を接続したとき, 入力インピーダンスが Z_L に見えるような場合, Z_L は反復インピーダンスとよばれる。図 1.4 の回路における反復インピーダンス Z_L を Fパラメータの各要素 A, B, C, D を用いて表せ。解答欄には計算過程も記入すること。
- 6) 図 1.5 に示すように、直列枝に Z_1 、並列枝に Z_2 が接続された二端子対回路が無限に続くような回路において、入力インピーダンス Z_i を以下の二つの場合について求めよ。ただし、方程式の解を単に記すのではなく、不適切な解は吟味して除くこと。解答欄には計算過程も記入すること。
 - a) Z_1 および Z_2 がどちらも抵抗(Z_1 = R_1 , Z_2 = R_2)の場合
 - b) 直列枝に誘導性リアクタンス $(Z_1=j\omega L_1)$, 並列枝に容量性リアクタンス $(1/Z_2=j\omega C_2)$ が接続された場合



2. 線間電圧実効値 200 V, 角周波数 ω の三相対称電源がある。以下の間に答えよ。

図 2.1 に示すように三相対称 RL 直列回路が Y 結線されている。3 つの端子をそれぞれ U, V, W, 中性点を N とする。なお, R=30 Ω , ωL =40 Ω である。以下の問に計算過程を示して,有効数字 2 桁で答えよ。

- 1) 中性点Nから見込んだ端子Uの電圧 V_{UN} の振幅を求めよ。
- 2) RL直列回路の電流 I_U を求めよ。
- 3) 回路全体の消費電力を求めよ。
- 4) 力率を求めよ。

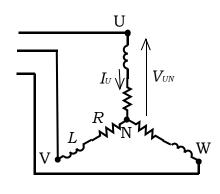


図 2.1

図2.2に示すようにRとLとCが Δ 結線された負荷が三相対称電圧源に接続されている。電圧源から流入する各相の電流の大きさが等しく,各相の電流は120度ずつの位相差がある。 Δ 結線負荷の力率は1である。以下の間に過程を示して答えよ。

- 5) 端子Xに流入する電流 I_C , I_R , I_X のフェーザ(ベクトル図)を示し、 $1/(\omega C)$ をRを用いて表せ。
- 6) 前問と同様に、 ωL をRを用いて表せ。
- 7) さらに、等価なY結線三相対称回路を示せ。

